

## 徳川慶喜公縁の名勝庭園、維持保全を目的とした 一般財団法人「浮月内匠寮」設立および寄附募集開始のお知らせ 第一弾事業 倒木した春楡の樹を弓反橋へ生かす「御神木再生プロジェクト」始動

### 2026年1月31日より寄付募集を開始

一般財団法人浮月内匠寮(所在地:静岡県静岡市)は、文化財として登録された浮月楼・明輝館および庭園を未来へ継承する公益的基盤として設立されました。本財団の第一弾事業となる「御神木再生プロジェクト」の始動を記念し、2026年1月31日、徳川慶喜公屋敷跡・浮月楼にて奉納行事「浮月シャクジ能」が開催されました。本催しは、財団を設立した浮月楼(株式会社浮月)が主催し、財団設立の趣旨とプロジェクトの志を広く発信する場として執り行われたものです。同日より、一般財団法人浮月内匠寮による「御神木再生プロジェクト」への寄付募集を開始いたしました。

### 浮月楼・明輝館と庭園 — 文化財としての新たな歩み

2025年、料亭浮月楼の建物「明輝館」は国登録有形文化財(建造物)に、その前に広がる庭園は国登録記念物(名勝地関係)として登録されました。130年以上にわたり徳川慶喜公屋敷跡として受け継がれてきた浮月楼は、この文化財登録を契機に、新たな責任と使命を担うこととなりました。文化財は登録された瞬間から、「守り続ける責任」が生まれます。庭師や職人の高齢化、維持管理費の増大、技術継承の担い手不足といった課題に持続的に向き合うため、浮月楼は文化財を「守る」だけでなく「生かし、次代へつなぐ」仕組みとして一般財団法人浮月内匠寮を設立いたしました。本財団は、文化財庭園と建物を未来へと継承するための公益的基盤として活動してまいります。

### 折れた春楡の命を、再び人を渡す橋へ

浮月楼の庭園には、四季折々の樹々を映す池と、その景色へ人々を導いてきた一本の弓反り橋があります。しかし現在、その橋は老朽化により、安全面の観点から渡ることが難しい状態にあります。一方、2018年には庭園内に佇んでいた樹齢150年余の春楡(はるにれ)が、自身の重みに耐えきれず倒木しました。この春楡は、庭園内の子福稲荷神社の御神木のような存在として、長年浮月楼を見守ってきた象徴的な樹です。本プロジェクトは、当財団の第一弾事業として、この春楡を失われた存在とするのではなく、その材を生かして老朽化した弓反り橋を新たに架け替える取り組みです。折れた御神木が、再び人を迎え、渡す橋として生まれ変わる——自然への感謝と命の循環を体現する「再生の象徴」となることを目指しています。



### 寄付募集について

本奉納を機に、一般財団法人浮月内匠寮が主体となり、「御神木再生プロジェクト」への寄付募集を開始いたしました。皆さまからのご支援は、以下の費用に充てられます。

- 弓反り橋の設計・架け替え工事費用
- 倒木した春楡の引き上げ・製材・再利用費用
- 庭園全体の保全・整備費用
- 完成披露会および文化催事の開催費用



詳細はこちら